

宇佐市議会広報誌

第61号

令和2年5月25日発行

発行/宇佐市議会 直通:0978-32-2328 Fax:0978-32-1437



《議員一押しの写真》

第1回目の『子ども食堂・無料塾』が2月9日、「うさ児童館」で始まりました。「子ども食堂ASUあす」 の主催です。

月に1回、第2日曜日の夕ごはんを提供する計画で、子どもは無料、大人は500円です。第1回目は子ども31人、大人25人が参加しました。モットーは、「ひと手間かけたホンモノの味で、地域を元気にしたい」で、メンバーにはお食事処のシェフもいます。食材は、多くの有志の方から旬の野菜や果物、お米などを寄付していただいています。3月は、新型コロナウイルス感染予防のため、残念ながら中止。4月は、こんな時だからこそ何かしたいと相談し、子ども40人にお弁当を届けました。

本内には他にも、『子ども食労』に取り組んでいる団体があります。みなさんの美意で、地域が元気にな

市内には他にも、『子ども食堂』に取り組んでいる団体があります。みなさんの善意で、地域が元気にな りますように。

3月定例会

- ○一般会計・特別会計補正予算を可決
- 4月臨時議会

目

次

○新型コロナウイルス感染症対策事業に 伴う一般会計補正予算を可決

議会ホームページ

スマホも対応!

宇佐市議会 検索



3月定例会の概要・議案審査・審議結果…………………P.2~4

3月定例会の一般質問······P.5~11

4月臨時会・6月定例会予定ほか…………………P.12

と質疑・討論・採決、

④追加議案5件(人事案)

上程と質疑・討論・採決⑤追加議案1件上程及び

の審査報告と質疑・討論・採決

⑥追加議案の委員会付託、

⑦各常任委員会

3月定例会の概要

本会議第6日』(3/4)

①議案質疑、②議案の委員会付託

罰の件)の審査報告と質疑・討論・採決(3/2)

27)、③懲罰特別委員会(中本毅議員に対する懲

①一般質問、②追加議案2件上程及び説明

 $\widehat{2}$

本会議第7日】(3/18)

①追加議案

1件上程及び説明、

②議案の委員会付

③各常任委員会・予算特別委員会の審査報告

総額 317 億 200 万円の 令和2年度一般会計当初予算

同意しました。 18日まで30日間の会期で開かれました。 慎重に審議した結果、提案された議案を全て可決 市長から提出された議案39件が提案されました。 令和2年3月第1回定例会が、2月18日から3月

など39件を可決~

(人事案) 副

公平委員会委員 教育委員会委員 人権擁護委員

高 月晴彦 野直 行 氏 氏 (辛島) (院内町原口 (四日市) (安心院町山ノ口)

(下高家

本会議第1日】(2/18)

本会議第2~5日】(2/27~3/3) 審査報告と質疑・討論・採決、 件(行財政改革推進特別委員会)の報告、③予算 ①議案の上程及び説明、②継続審査・調査付託事 特別委員会の設置・選任、 (中本毅議員に対する懲罰の件) (懲罰特別委員会での2件の処分要求の件) の ④閉会中の継続審査案 ⑤懲罰特別委員会 の設置・選

託委員会の審査結果

総務常任委員会 (3月11日審査)

番号	件 名	結 果
議第 1 号	令和元年度宇佐市一般会計補正予算(第5号)	原案可決
議第14号	宇佐市総合計画審議会条例及び宇佐市国土利用計画審議会条例の一部改正について	"
議第15号	字佐市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について	"
議第16号	字佐市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	"
議第19号	宇佐市印鑑条例の一部改正について	"
議第25号	宇佐市監査委員条例の一部改正について	"
議第28号	第二次宇佐市総合計画「後期基本計画」の策定について	"
議第31号	宇佐市特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部改正について	"
議第32号	宇佐市職員の給与に関する条例等の一部改正について	"

議第28号は修正案が提出されたが、賛成少数により否決された

文教福祉常任委員会 (3月12日・18日審査)

番号	件 名	結 果
議第 1 号	令和元年度宇佐市一般会計補正予算(第5号)	原案可決
議第 2 号	令和元年度宇佐市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	"
議第 3 号	令和元年度宇佐市介護保険特別会計補正予算(第4号)	"
議第 7 号	令和元年度宇佐市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	"
議第 9 号	令和2年度宇佐市国民健康保険特別会計予算	"
議第10号	令和2年度宇佐市介護保険特別会計予算	"
議第11号	令和2年度宇佐市後期高齢者医療特別会計予算	"
議第18号	字佐市公民館条例の一部改正について	"
議第27号	字佐市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正について	"
議第28号	第二次宇佐市総合計画「後期基本計画」の策定について	"
議第30号	指定管理者の指定について(うさ児童館)	"
議第33号	令和元年度宇佐市一般会計補正予算(第6号)	"
議第39号	令和2年度宇佐市一般会計補正予算(第1号)	"

産業建設常任委員会(3月11日·18日審査)

番号	件名	結 果
議第 1 号	令和元年度宇佐市一般会計補正予算(第5号)	原案可決
議第 4 号	令和元年度宇佐市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	"
議第 5 号	令和元年度宇佐市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	"
議第 6 号	令和元年度宇佐市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	"
議第12号	令和2年度宇佐市水道事業会計予算	"
議第13号	令和2年度宇佐市下水道事業会計予算	"
議第17号	字佐市手数料条例の一部改正について	"
議第20号	字佐市工場等設置促進条例の一部改正について	"
議第21号	字佐市市営住宅条例の一部改正について	"
議第22号	字佐市特定公共賃貸住宅条例の一部改正について	"
議第23号	字佐市公共賃貸住宅条例の一部改正について	"
議第24号	字佐市若者定住促進住宅条例の一部改正について	"
議第26号	字佐市市道の構造の技術的基準等に関する条例の一部改正について	"
議第28号	第二次宇佐市総合計画「後期基本計画」の策定について	"
議第29号	指定管理者の指定について(宇佐市勤労者総合福祉センター)	"
議第33号	令和元年度宇佐市一般会計補正予算(第6号)	"
議第39号	令和2年度宇佐市一般会計補正予算(第1号)	"

本会議の審議結果

○議 案(3月18日審議)	※印は全会一	致でない議決
番号	件名	付託委員会	結 果
議第 1 号	令和元年度字佐市一般会計補正予算(第5号)	各常任委員会	原案可決
議第 2 号	令和元年度字佐市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	文教福祉	"
議第 3 号	令和元年度字佐市介護保険特別会計補正予算(第4号)	"	"
議第 4 号	令和元年度字佐市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	産業建設	"
議第 5 号	令和元年度字佐市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	"	"
議第 6 号	令和元年度字佐市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	"	"
議第 7 号	令和元年度宇佐市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	文教福祉	"
議第8号	令和2年度字佐市一般会計予算	"	″ *
議第 9 号	令和2年度字佐市国民健康保険特別会計予算	"	″ *
議第10号	令和2年度字佐市介護保険特別会計予算	"	″ *
議第11号	令和2年度字佐市後期高齢者医療特別会計予算	"	″ *
議第12号	令和 2 年度字佐市水道事業会計予算	産業建設	"
議第13号	令和 2 年度字佐市下水道事業会計予算	"	"
議第14号	字佐市総合計画審議会条例及び字佐市国土利用計画審議会条例の一部改正について	総 務	"
議第15号	字佐市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について	"	"
議第16号	字佐市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	"	"
議第17号	字佐市手数料条例の一部改正について	産業建設	"
議第18号	字佐市公民館条例の一部改正について	文教福祉	"
議第19号	字佐市印鑑条例の一部改正について	総 務	"
議第20号	字佐市工場等設置促進条例の一部改正について	産業建設	"
議第21号	字佐市市営住宅条例の一部改正について	"	"
議第22号	字佐市特定公共賃貸住宅条例の一部改正について	"	"
議第23号	字佐市公共賃貸住宅条例の一部改正について	"	"
議第24号	字佐市若者定住促進住宅条例の一部改正について	"	"
議第25号	字佐市監査委員条例の一部改正について	総務	"
議第26号	字佐市市道の構造の技術的基準等に関する条例の一部改正について	産業建設	"
議第27号	字佐市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正について	文教福祉	"
議第28号	第二次字佐市総合計画「後期基本計画」の策定について	各常任委員会	"
議第29号	指定管理者の指定について(宇佐市勤労者総合福祉センター)	産業建設	"
議第30号	指定管理者の指定について(うさ児童館)	文教福祉	"
議第31号	字佐市特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部改正について	総務	"
議第32号	字佐市職員の給与に関する条例等の一部改正について	//	<i>"</i> *
議第33号	令和元年度字佐市一般会計補正予算(第6号)	文教福祉 産業建設	"
議第34号	字佐市副市長の選任について	付託省略	原案同意
議第35号	字佐市教育委員会教育長の任命について	/	//
議第36号	字佐市人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	"	"
議第37号	字佐市教育委員会委員の任命について	"	"
議第38号	字佐市公平委員会委員の選任について	"	"
議第39号	令和2年度字佐市一般会計補正予算(第1号)	文教福祉 産業建設	原案可決

※全会一致でなかった議案の採決結果

	THE STATE OF THE PROPERTY OF T																						
議案番号	河野健治朗	吉田泰秀	赤野道和	若山雅敏	中本毅	川谷光紹	和気伸哉	多田羅純一	河野睦夫	後藤竜也	衛藤義弘	河野康臣	井本裕明	辛島光司	今石靖代	新開洋一	林	大隈尚人	高橋宜宏	中村明美	永松 郁	浜永義機	衛藤博幸
議第8号	0	0	×	0	×	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	0	0	0	0	0	0	0	議
議第9号	0	0	×	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	0	0	0	0	0	0	0	長につ
議第 10 号	0	0	×	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	0	0	0	0	0	0	0	き表
議第 11 号	0	0	×	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	0	0	0	0	0	0	0	衣決な
議第 32 号	0	0	×	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	0	0	0	0	0	0	0	ľ
																压 4	タ)っお	ь.н	$\overline{}$	压 4	タック ロ	، علماء ،	

○閉会中の継続審査となっていた処分要求の結果(2月18日)

原案に賛成: 〇 原案に反対:×

	直直と びょくび たたの文句 いかれ (三方:5日)		
提出者	内容	付託委員会	結 果
中本 毅議員	多田羅議員による決議案の体裁を借りた侮辱発言に対して	懲罰特別	多田羅純一議員に対し、懲罰を科さない
多田羅 純一議員	決議案(署名議員 17 名)を提出した事に対して中本議員が 処分要求を提出したため	懲罰特別	中本毅議員に対し、懲罰を科す (公開の議場における陳謝)

○中本毅議員に対する懲罰動議の結果(3月2日)

提出者	内 容	付託委員会	結 果
若山 雅敏議員 吉田 泰秀議員 和気 伸哉議員	陳謝の懲罰に対し、陳謝文を朗読せず、また議長の秩序保 持権にも従わなかったため	懲罰特別	中本毅議員に対し、懲罰を科す (出席停止3日間)

案は賛成少数で否決、 きでない。」といった賛成討論が 断するもので、 法性については、 しては賛成多数で可決しました。 採決の結果、 行政が断定すべ 本来司法が判 原案に対

の良い日は、 周防残っており、 天気

望できます。

から山口県まで

素晴らしい景観が した。里山として 樹してくださいま

灘地区資源保存会の皆さん



園」に紅ドウダン

井上知治氏)

の皆さんが、

「お寒水公

ました。3月1日に灘地区資源保存会(代

ツツジやオタフク

ナンテンなどを植

リットの方が上回ると思う。違 が必要になるが、これを出すメ 討論や、「今回の修正動議は改善 が普通旅費についての認識が不 受けた後、 審査しました。 の議事進行により、 正確ではないか。」といった反対 の1減額する。」との修正動議が提出され、 のある歳出を抑制するため、 いました。最後に、「違法ないし不当とみられる可能性 違法な支出はない。 2 月 19 日、 部署ごとに所管する予算の内容について詳細説明を 会派ごとに決められた持ち時間で質疑を行 3月5・9日の3日間、 令和2年度字佐市一般会計予算を 提案者自体 議会費の普通旅費を3分 大隈尚人委員長 それに対

> 議員植樹の要望が麻生の灘地区よりあり 員連盟より苗木を配付し

業活性化促進

ます。

ト中心の議会や和3年度か 範囲を広げ、 6月定例会よ となりました。 運営を目指 レット活用の しながらタブ 活用すること タブレットを 紙と併用

タブレット講習

特別委員会を設置

予算特別委員会 (令和2年度 (議長を除く全議員

般会計予算の審査を行います) 22名) (2/18 設置・選任)

レス化等の効果を期待し、

3月定例会より

新庁舎にあわせ、業務の効率化・ペーパー

懲罰特別委員会 (11 名) 2 / 18 設置・選任

◎大隈尚人

○新開洋

(中本毅議員の懲罰に関する審査を行います)

◎後藤竜也 大隈尚人 河野健治朗 ○浜永義機 多田羅純

永松 郁 今石靖代 河野睦夫

辛島光司

令和2年度当初予算を予算特別委員会で審査

川谷光紹 井本裕明 ◎委員長 ・選任 ○副委員長

議員を対象にしたタブレット講習

針として決定した。

要件を撤廃。効果として、

更なる人口減少対策を



問 施政方針の人口減少につ

購入、中古住宅購入に対しての 中古住宅購入補助金の上限を拡 る支援として、県外移住者につ 補助金を新設していく。 充。市外移住者についても新築 いては新築購入補助金の上限と 特に子育て世帯の移住者に対す り組みは、検討されているか。 今後更なる移住拡大に向けた取 でどの様に推移しているか。又: 本年度は1月末現在8人。 本年度の移住状況はこれま

か。又、他県にどの様に発信し ② UーJターン奨学金支援返 ているのか伺います。 還制度はある一定効果は出てる

外の大学等への情報提供など積 極的な周知に努める。 答 今年度は現在のところ17名 申請を受けており、 今後県内

多田羅純 一(市民れんごう) ③ 3子以降の更なる出産支援 問② チャイルドシートの助成 子育て期まで、安心して子育て や子育て世代包括支援センター が必要と考えるが、 しやすい環境を整えていく。 を設置する事で妊娠・出産から に考えているか。 来年度より産後ケアの実施

る。 市で実施しており、貸出制度は 玖珠町と豊後高田市で行って 度はどの様な状況か。 金や貸し出し制度について。 購入費助成は九重町と国 県下の助成金や貸し出し制

シートを回収し、リユース 努めている。 判断し、平成28年度から出 使用)してはどうか。 (2)て保護者の経済的な負担軽減に 「すくすく子育て祝金事業」に 小・中学校入学祝金を支給する 保護者のニーズ等総合的に 不要になったチャイルド 産

たは中止するなどを市の基本方 問③ 新型コロナウイルス感染 は当分の間、原則として延期ま ているか。 症の対策についてどの様に考え 市主催の屋内行事について

は君と僕のふるさと

問 事から、来年度は補助額を増額 びSNSをどのように活用して 業への支援者も増えてきている 今年度は現在7名の申請。 援事業補助金の成果と課題は。 タイムリーな情報発信に努める。 Sとあわせて若者の関心を惹く し、周知活動を含め事業効果を いるか。 信について、インターネット及 、ージをリニューアルし、 宇佐市高校生等地元就職応 事業開始の昨年度は11名、 本年4月から市のホ 宇佐市が行っている情報発 若者の市街流出対策。 本事 S N 1 4

学金に県奨学金を追加し、 (3) 奨学金返還支援事業の成果 答 今年度から、対象とする奨 と今後の課題は。

上げていく。



T字交差点であり交通量を考慮

交差点の改良計画を行う際

して設置の必要性は無いとの事

機設置に係る市の対応は。

市はどの様

引き続き積極的な周知に努める

院内町国道交差点の信号

度を上回る申請を受けている為、

問3 ر ۲۶ 練の実施計画はあるか。 大災害を想定した大規模訓 宇佐市の防災対策

との意見を公安委員会へ伝えて

認の上、必要に応じ地域関係者

ては近年の交通利用状況等を確 り交通量が増えており、市とし ツ公園のリニューアルなどによ だったが、平成令和の森スポー

自治区や小学校区で実施して頂 年度から市内の一斉避難訓練を いている。 情報伝達訓練を実施。また、昨 南海トラフ地震を想定した 毎年、年度当初に県と連携

るように考えているか。 市民とどのような連携をと

等を今後も継続して実施する。 は市民との連携は大変重要なの 民による避難所の開設運営訓練 応マニュアルを整備。災害時に 防災士の養成や防災士と市 市の庁内体制については対 枚は「故障中」、もう一枚は「い

イレに二枚の張り紙があり、

たずら防止のため施錠中。

でお越しください」とある。

用の方は鍵を取りに)

事務所ま

くない。

早急に関係機関と協議

是正する方向で対応したい。

件は、観光行政にとって好まし

(市長) ご指摘いただい

神宮参道でケガ人が続出

問② 宇佐神宮観光におい

7

障害者などの受け入れについて

車場に車椅子は何台あるのか。 さまざまな問題が。まず八幡駐



(至誠会) 高橋宜宏

主さんの考えの中でバリアフ リー化を進めている。 が、民間施設はそれぞれの施設 、一化をどう推進しているのか。 1 公共施設には対応している 市は観光地のバリアフ

問6

もっと大きな問題が。一

多いが、一台もない。是非車椅 問③ 八幡駐車場の駐車台数は 問④ 八幡駐車場トイレの設置 子を備えていただきたいが如何 者は宇佐市。ここの身障者用ト 把握できていない。 駐車場と協議してみたい。

問(5) 場と協議していきたい。 善について駐車場と協議したい まったため使えなかったこと等 の問題についてどう考えるか。 は午後5時まで。女性差別では 時から午後10時。ところが女性 様々な問題があったという。 適切な管理をするため駐車 過去に汚物を流されて詰 使用時間は男性は午前8 改

昨年、 問 解放して以来、参道への段差が 拝者の安全を第一に考えて駐車 い。また観光行政の立場から参 断だが、ご意見は伝えて行きた 備をお願いしたい。 研修を含むハード・ソフトの整 起こしたことが。市長、職員の バスの乗務員に対し傷害事件を 善処してもらいたいが如何。 立ち往生する光景が。また段差 大きく、乳母車や車椅子の方が 人も続出。宇佐神宮と協議 に気づかず転倒して怪我をする 観光協会等と協議したい。 所有者である宇佐神宮の判 仲見世通りの途中の柵を 八幡駐車場の職員は以前

> につ 61 1

若山雅敏(市民れんごう)

可能な行政運営と市民サービス

年間で25%減らしながら、

財政について心配する市民

見通しは、令和2年度以降徐々 的に見て健全財政の枠組みの 立金残高は上位に位置し、 収支比率は県内全市で中位、 型事業に取り組みながら、 状況だが、当市では計画的に大 連経費の増嵩などで厳しい財政 減少、医療・福祉等社会保障関 今後の見通しはどうなのか。 維持していきたい。 集中を進め、健全財政の枠組を き続き経費節減や事業の選択と に改善していくと考えられ、 答 県下全市的に普通交付税の の声がある。当市の財政状況と .内である。今後の財政状況の 総合 経常 引 範 積

の定数に不足する現状について 25日とする。増える給食費につ 問2 進行管理に努めていく。 も、県教委とともにしっかりと を設ける等に取り組む。 削減や長期休業中の学校閉庁日 策は十分取り組めるのか。 よう検討している。 終了し、2学期の始業日を8月 聞くが、状況と方向性は。 縮について。 事務局が調整機能を発揮しつつ 針を定めたもの。今後、 の維持向上を図るとする基本方 いては、保護者負担とならない の協議を進めながら、計画推進 8月の授業時数が増加 令和2年度より土曜授業を 毎月末の授業時数の1時間 教職員等の働き方改革の対 夏季休業短縮に取り組むと 小中学校の夏季休業の短 市民と 教職員 した

問3 いての声も聞く。その改善等に 対応していく。 も取り組んでいるのか。 新庁舎に移り不具合につ

計画の現状と、今後の方向性や 宇佐市公共施設等総合管理 公共施設等の施設総量を40 置され市民の利便性が向上して の都度、 いる。指摘される不具合等はそ 新庁舎は、 協議し対応していく。 全ての部署が配

体制はどうなっているのか。

財政状況と今後の見通 1,

国道 387 号白岩付近の迂回路につ



大隈尚人(市民れんごう)

問① 関係機関に要望していく。 題として地域の声を聞きながら 等の通行はできない。今後の課 号に出る道路はあるが、大型車 387号で事故があり、 拝田新洞線を通り、 号に迂回路を設置してはどうか。 めになった。今後、 新洞橋を渡り、市道上拝田 院内町白岩付近の国道 国道387 国道387 通行止

問② プレミアム商品券の利用 者が少ないと聞くが、 事業終了後、 国の総括を踏 何か改善

まえ関係課と検証し、

業に生かしたい。

今後は、 近隣温泉施設を紹介している。 狭いと聞く、改善すべきでは。 問③ 平成令和の森公園の利用 者が増えてきているが、 宿泊者が多くなった場合は、 施設全体での使用水量 風呂が

(2)

今後の事 により、 問⑤ 全国学力テストを文部科 移住支援などを着実に進め、 人口減少に努める。

て調査研究していく。 の現状や実現可能な対策につ

院町は令和2年から約560 ミュニティ組織の活動支援など 出産・子育て支援やUIターン ピードを緩めると共に、結婚・ は避けて通れないが、減少ス 3200人、3000人、 は、令和2年から約3400人 点は36300人。 通ネットワークの充実や地域コ 今後15年間で18%減少していく。 令和17年時点は4600人で、 人、5300人、4900人、 17年時点は2800人。旧安心 約44100人、4150 後15年間の5年毎の推移は。 人、38900人、令和17年時 当面は人口減少が続くこと 人口減少に対する対策は。 旧字佐市は令和2年から 旧院内

境整備5カ年計画」等に基づき 学校のICT化を整備していく。 移行すると聞くが、市の体制は 題も回答もパソコン方式へ全面 学省が2023年度を目途に出 国の「ICT化に向けた環

合併して15年になるが、 合併後の人口推移は 今 もが安心して暮らせるために

知と、本庁舎が浸水被害にあっ 合わせた市民への避難情報の周 答

想定し得る最大規模の降雨 た際の危機管理体制は、 ハザードマップの改定に

される。ハザードマップの裏面 受信機の貸与をしたい。 と設定された。豊川・駅館・柳ヶ 希望する世帯に防災無線の戸別 え、情報の伝わり方も記載し、 に、事前の備えや避難時の心構 浦小学校区での浸水被害が想定 量が、12時間雨量で696ミリ

問2 地域での活躍を推進しては。 うに、作業療法士など専門職の いを持って自宅生活ができるよ て院内支所等で業務を行う。 には、業務継続計画にしたがっ 本庁舎が浸水被害にあった際 生活支援サービスの提供体 住み慣れた地域で生きが

川谷光紹 (求道会) ざした介護予防教室の充実や、 社会福祉協議会が担いサービス 士・管理栄養士等を、地域にね 実・強化を図っている。 を提供する事業主体と連携し充 介護サービス事業所職員のスキ また、理学療法士・作業療法 が委託した宇佐市

問3 待される。研修等の機会があれ ミュニケーションによって、お 互いの人間関係を育むことが期 サポート研修の推進を。 また再犯防止の観点からもピア ピアサポートの寄りそうコ 不登校やいじめへの対策 ルアップに派遣している。

問④ 平和ミュージアムの現状 と今後の方針は。 周知していきたい。

資料館建設を目指している。資 鑑みながら工事の着手時期を判 情勢を注視し、市の財政状況を 材の高騰や建設業界の社会経済 を伝えていくため、基幹となる 答 「平和の尊さと命の尊 していきたい。

※その他の質問

- まちづくり協議会について。
- 小中学校の夏休みについて。 再犯防止推進計画について。
- 子どもの貧困対策について。 四日市市民プールについて。

の構築に向けたコーディネイ

会で基本計画の決定を行いたい

子どもの バス』利用 3 ユニティ



(光りの会) 辛島光司

コミュニティバスの利用

小中学生の利用は可能

か

なく、子どもの利用も可能。 また現在の利用状況は。 い方の利用はほとんどない。 利用に対しての年齢制限 図書館や児童館に行くこと

暇期間など、積極的に利用して 書館や児童館に行けるよう運行 いただきたい。 ルートを変更している。 答 ほとんどの系統において図 長期休

いるのか。

可能な運行ルートとなって

状況は。 問② 長洲複合施設(公民館 基本計画策定に向けた進捗

員会等の審議を経て、教育委員 建設に動き出す。今後、 本年度より本格的に公民館 検討委 尊重し、地元と連絡を密にする。

屋の配置を考えている。 るよう、多目的に利用できる部 える場を求める声があるが。 自習室など子どもたちが集 様々な学習機会に対応でき

問4 現できるよう、調整に努めたい 要なため、地元の協力を得なが とのこと。市としては、早期実 ら計画的な整備方針を立てたい 答。浚渫土の処理等に調整が必ているが、現状と今後の進展は 区の要望として事業実施を求め 防災・減災の観点から、和間地 西大堀地区の都市公園

望について、あらためて話し合 調整に努め方向性を定める。 域事務組合とスケジュール等の (2)の調査に取り組むとともに、広 次年度の具体的な取り組みは。 いの場が必要と考えるがどうか (余熱利用施設)について。 これまでどおり基本構想を 地元・周辺地区の意向や要 余熱利用施設等の類似施設 都市公園の計画策定に向け

問③寄藻川の浚渫について、指している。 に着工、令和4年度の完成を目 今後のスケジュールは。 今年度に設計、令和3年度

問① として、「自らが地域の一員で ように、職員は主体的に地域に の責務を果たすこと。」とある あることを自覚し、市民として る。強制は出来ないが、 貢献すべきものと考えている。 治基本条例第11条に職員の責務 答 当市においては、 な参加や入団を促せないか。 において、人手不足に悩んでい くり協議会、消防団員等の活動 本市は、自治会やまちづ 宇佐市自 積極的

> 関連経費の増加が見込まれ、 併特例措置の終了や、社会保障

しい財政運営になるが今後の取

問2 営住宅条例及び同施行規則等の するので、 が、今後も継続・拡大していく 答 本市が受け入れている外国 約等は問題ないか。 援に苦慮している。市営住宅を 沽用できればと思うが、 **八労働者は中長期在留者に該当** 受け入れ側の企業は生活支 外国人労働者の受け入れ 地域住民と同様に市 利用規

和気伸哉 (桜和会) 問4 動向に注視し、包括的な支援体 付に向け、調査研究して欲しい る方針を決定した。事業費の交 機関の連携強化や国の支援策の 本化)を促し、財政面で支援す 省は自治体の体制整備(窓口 いる家庭に対応するため、厚労 といった複合的な問題を抱えて 条件を満たせば入居は可能 の整備について調査研究する。 今後さらに、関係課、関係 今後は、普通交付税の合 引きこもり、介護、困窮

行くと共に、企業版ふるさと納 減や事業の選択と集中を進めて り組み方は。 必要があると考える。 税など、新たな歳入確保対策も 今後は、より一層の経費節

問 5 整備の終了後に、市民向けの完 いては、多くの市民が参加でき 成披露イベントは計画している 事業完了後のイベントにつ 旧庁舎の解体工事や外構

るオープニングイベントを考え も参考に計画する。 ている。

市職員の積極的な地域活動参加

行革・スポ ジムほか ツ



と個別計画の整合性は。 行政運営における優先順位 行財政改革について。

階で優先をつけていく。個別計 る施策を主眼にし、予算化の段 ② 自治区のあり方と区費につ 画の見直しで整合性を図る。 答 少子高齢化や若者流出によ

区の問題意識があり、 **′協議をする。** | 自治会連合会も小規模自治 連携を取

いる学校がある。困難だが理念

直し・廃止など個別ファイル化

公共施設の継続・改善・見

法を用いては。 の高い行政運営(PFI)の手 理を民間資金など取り入れ、質 中の策定に向け作業を進める。 はどうなったのか。 〔NPM〕 や公共施設の維持管 方向性を検証し令和2年度 民間企業の手法や成功事例

ポーツジム設備を検討し、健康 をするべきでは。 増進と交流・出会いの場づくり PFI・NPMなど比較検 今後何が良いか検討する。 公共施設の再利用でス

率80%の鹿児島県大崎町。27品 進めていく内容だと考える。 DGs)で、ごみのリサイクル 目分別の事業で成功。出来ると があり、補助金や場所や設備を 意識調査で多くの設備要望 持続可能な開発目標

問4 ころからやるべきでは。 ち切る改革が必要では。 不登校をなくす。負の連鎖を断 ラン教育」がある。勉強嫌い 小規模校を中心に実施して 市に有効な施策を考える。 教育改革で、「イエナプ

問 5 況を調査し判断したい。 性や実用性、ニーズや他市の状 望の光」を当てるべきでは。 領に沿い教育を行っていく。 補助制度に加えて障害者に で日常生活用具の対象に含めて、 所視支援眼鏡」を宇佐市の判断 を生かすには必要。学習指導要 市町村の判断であり、 障害者総合支援法で、「暗

は、有効求人数69人に対し、 差がある。 効求職者数は23人と、46人もの 倍前後を推移、令和元年12月で と言われている、本市の現状は。 答 近年、有効求人倍率は、 全国で介護現場は人材不足 介護職の人材確保対策 3 有

制度の周知に努めている。今後、 備に努める。 想されるので、実効ある環境整 職人材確保支援事業」を創設し、 答 令和元年12月「宇佐市介護 人材はさらに不足してくると予 介護人材確保対策の現状は。

し、現行どおり20歳を対象とし 施ついて市の見解は。 問② 成人式の在り方 引き下げられるが、成人式の実 様々な状況を総合的に判断 令和4年4月に成年年齢が

> (2) 必要があると思うが。 魅力ある成人式を実施する 積極的に若者の意見を反映

式にしてはどうか。 を公募し、市民をあげての成人 う式の内容も見直す必要がある。 る。今後、若者が夢を持てるよ して参加する小中高生の団体等 成人式のアトラクションと 式の企画や運営を行ってい 新成人と事務局が一体とな

河野睦夫 (政友会)

問③ スポーツ施設の有効活用 意見を参考にして検討する。 での大会等の誘致活動は。 平成令和の森スポーツ公園 記念品やアトラクション等

設を有効活用できるよう、周知 に取り組んでいる。今後も、 に努める。 大規模大会等の1年前予約など はじめ、各競技団体へ声掛けし、 ターとの連携による合宿誘致を 合宿施設の農村交流セン

(2) 料となり、不満の声が多く聞か れる。市の対応は。 宇佐神宮球場の駐車場が有 令和2年度より、大会で利

場が利用できるよう考える。少 年野球等の大会時でも、選手、 審判等が駐車料を負担せずに球 用する野球チームの選手、監督 応援者も含め対応する。

成人式は20歳で実施 従来通り

財政、地方創生、担い手確保等に関



後藤竜也 (政友会)

見通しについて。 1 当市の財政の現状と今後の 財政について。

はどうか。

どの程度が望ましいと考えるか。 は徐々に改善の見込みである。 あり、これらに備えるため基金 なっているが、想定の範囲内で 近年は実質単年度収支が赤字と の増大、大型事業の実施により の水準は維持していきたい。 で中位の水準であり、今後もそ 状況を踏まえ、経常収支比率は の積み増しを行ってきた。 現在、経常収支比率は県内 類似団体との比較、 合併特例債の終了、 昨今の 扶助費

比較的選ばないIT企業の誘致 問②地方創生について。 に力を入れてみては。 の企業誘致と共に、 と言っても過言ではない。 地方創生イコール仕事創生 働く場所を 従来

組んでいく。 ている。県や関係機関と連携し て注目されていることは承知し る為、魅力ある特区を目指して ある。選んで貰える自治体にな 移住者を求めて競い合う時代で IT企業を含め企業誘致に取 サテライトオフィス」や一コー センター」などが地方に於い 人口減少社会で各自治体が 都市部に拠点を置く企業の

行っている。 改革特区」の認定に向け調整を の認定を受けた。現在、 当市も平成20年に「ワイン特区 つの特区制度を措置しており、 合特区」、「国家戦略特区」 国は「構造改革特区」、 「構造 の 3

手総合対策事業を始め、 国の次世代人材投資事業、 を考えているのか。 急務であるが、どのような施策 問③一次産業の後継者育成が 者育成を図っていく。 支援制度を最大限に活用し後継 農業、漁業、林業に於いて、 様々な 担い

周辺地域には、小中学校の

で進めるのか。

※その他の質問

外国人との共生について。

事業継承支援について。

児童虐待防止の取り組み

河川敷の管理について。

今石靖代 (日本共産党)

問① 度日本一」について。 子育て世代の移住の現状と 市長がめざす「定住満足

答 子育て世帯の移住実績は

通学困難地域の交通手段の確保を 移住対策を強化していく。 助の増額や家賃支援の新設など ている。来年度は、住宅取得補 昨年度は16世帯61名、 1月末現在で13世帯51名となっ 通学が困難で親の送り迎えが必

の原因にもなると言われ、 3人に1人、80代で3人に2人 問② 「加齢性難聴」は70代で 要な地域がある。早急な対応が えのバリアをなくすためにも、 が難聴と言われている。 必要だが。 早急に対応したい。

認知症 聞こ

調査研究していく。

ティセンターが必要だが。 北中校区への新たなコミュニ ターは、他の2倍になっている ると、四日市コミュニティセン 期建て替えについて。 請願を採択して6年が経過。早 センターは、議会が全会一致で 公民館ごとの対象人口をみ 糸口農業者トレーニング

態。 総合計画ではどういう位置づけ 会の拠点としても要望が強い。 考えている。 望書に沿った建て替えが必要と 北中校区のまちづくり協議 生涯学習の場としても、

ターは利用が多く空きがない状

四日市コミュニティセン

今年度は

月)。 9%、入院は95・8% 助成している自治体は、通院と について、全国では、高卒まで 問④ 子どもの医療費助成制度 替えに着手。次年度から他の公 中学卒業までは、通院は88 共施設の建て替え計画にかかる。 入院ともに全体の3割を超え、 来年度は長洲公民館の建て 18歳まで拡大すべきでな (18 年 4

治体の状況を注視していきたい 医療体制への影響や実施自

補聴器購入のための補助制度を

< 住みよいまちづ ŋ について

考え、計画的な整備と地域の要

答 道路利用者の安全を第一に



どにより危険な場所があるが 問① 今後の整備の予定は、 面表示が消えている所や薄れな 宇佐市の道路における路

問② 今現在、宇佐市に子供食 望を踏まえ、危険度の高い個所 たり支援してはどうか。 あるか。今後、子供食堂を広め 堂と言われるような所は何ヵ所 については早急な対応を図る。 答 現在、市内には子供食堂は

どもたちへの食事提供の場 開催している。子供食堂は「子 先進事例を参考に調査研究して 者も利用でき、地域のコミュニ 2ヵ所あり、いずれも月1回、 ている。今後、市民のニーズや ケーションの場としても機能し してだけではなく、近隣の高齢

> 度からは水産多面的機能発揮対 を行っている。引き続き長洲町 るフルボ酸鉄シリカ資材を使っ が、福岡大学の協力で行ってい 協定」を締結した熊本県長洲町 どを実施している。平成27年度 平成21年度から国の環境・生態 復に取り組んでいく。 工夫しながら、アサリ資源の回 いき、本市にあった方法を創意 や福岡大学と情報交換を行って から長洲地先に同様の実証試験 た取り組みを参考に平成29年度 覆網による保護、ポンプ耕耘な リングやアサリの母貝放流と被 策事業を活用し、干潟のモニタ 系保全活動支援事業、平成25年 答 アサリ資源の回復を目的に のように取り組んでいるのか。 リ貝を復活させるために市はど 「水産振興に関する包括連携 長洲の干潟におけるアサ

※その他の質問

宇佐市におけるスポーツ大会 架け替え予定は。 小松橋について現状は、今後 で補助金の強化は出来ないか。

教員を増やす取り組みを。

クラウドファンディングにつ 用水路における危険箇所は。 いて、現在の状況と詳細につ

教員

の変形労働制は導入しないように

務の実態は。 るが、宇佐市の教員の時間外勤 いこと」を導入の前提としてい 変形労働制は導入しないように。 度を運用する予定だが、教員の 「恒常的な時間外労働がな 月に45時間を超える教職 国は2021年度から制

ながら、慎重に判断したい。 を作らないような働きかけを。 ② 大分県教委に対して、条例 が、小学校で毎月約30%、 答 国や県教委の動きを注視 校で約50%という状況 子どもや地域と向き合える 中学 員

問2 の整備に取り組んでいく。 き合える時間の確保や職場環境 吝 今後も、子どもや地域と向 同和運動団体への補助金

部落解放同盟宇佐支部・全

間全く減額されていない。これ 金352万4千円は、この11年 心院支部の3団体に対する補助 日本同和会宇佐地協・全日本安

(日本共産党)

はなぜか。

している。 現在の額で活動費補助金を交付 多額な団体補助金を、なお

続けていくことは、差別解消に

赤野道和

運動団体の活動を必要と認め、

市が補助金を交付している

逆行すると思われるが。 消に逆行するとは考えていない。 ては、あらゆる差別解消をめざ して活動しているので、差別解 運動団体への補助金に関

問④ 安心院の親子殺人事件を た場合、一義的には国が主体的 進める。維持管理が困難となっ としてできることを調査・ に対処すべきと思われるが、 理に宇佐市がもっと関わりを。 していく。 ケートを実施。引き続き調査を 昨年8月に遺族会にアン 戦没者慰霊碑・墓地の管

とは。 の警戒活動などを中心に、 の安全安心の確保に全力で取り 受けて、宇佐市としてできるこ 今後も青色パトロール 市民 車で

補正額

100万円

小規模事業者等事業継続支援事業

○宿泊施設事業継続支援事業 補正額 1億5899万7千円 950万円

ス感染症対策として

宇佐市議会から国へ

避難所感染予防対策事業

補正額 市独自の新型コロナウイル 1351万円

放課後児童健全育成事業

補正額

7071万円

ロナウイルス感染症

外4点について提出しました。

検査・医療体制の更なる整備と充実を図ること。 国民生活と地域経済や各産業への影響を最小限

に止めるよう適切に財政支援、経済対策を実施

○子育て世帯への臨時特別給付金

者への小 ものです。 ロナウイルス感染症対策として 主な補正予算は以下のとおりです (1) 国の補正予算に係る新型コ 4月臨時議会での補正予算 2億6,770万円を可決しました

感染症対策費などの増額を行う 小中学校再開や避難所開設時 小規模事業者、 支援事業を追加するととも う放課後児童クラブ学校の臨時休業に伴 金事業の追加と、小 の臨時特別給付 また、 域 影響を受けている地 症対策事業として、 コロ 補正を行うものです。 運 対ル国 対策に 経済を支援するた 一営にかかる予算の ナウイルス感染 に伴う子 市独自の新型 染症緊急経済 観光関連事業 育て世 ナウイ

(貸出図書感染予防対策) 131万1千円

補正額 補正額 図書館管理費 小中学校感染予防対策事業 観光産業応援融資利子補給 866万5千円 30万円

正予算は、

の減額 報告がありました。また市独自の 決処分により予算措置を行うとの 55億5820万円については専 業(1人一律10万円) 済対策に伴う特別定額給付金事 新型コロナウイルス感染症緊急経 生活等支援対策として、 ◎その他に国の補正予算可決後に (県内初)を行います。 の補正額 水道料金

○議室(4月28日寒議)

すること。

※印は全会-- 致でたい議決

		ツ り 10 エ ム ユ	人 (な) 財八
番号	件名	付託委員会	結 果
議第 40 号	令和2年度宇佐市一般会計補正予算(第2号)	総	原案可決
議第 41 号	専決処分の承認を求めることについて (宇佐市税条例等の一部改正)	総 務	原案承認
議第 42 号	専決処分の承認を求めることについて (宇佐市都市計画税条例の一部改正)	"	"
議第 43 号	専決処分の承認を求めることについて(宇佐市国民健康保険税条例の一部改正)	文教福祉	<i>"</i> *
議第 44 号	字佐市固定資産評価員の選任について	付託省略	原案同章

○意見書案

番号	件名	付託委員会	結 果
意見書案 第1号	新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書	付託省略	原案可決

※全会一致でなかった議案の採決結果

議案番号	河野健治朗	吉田泰秀	赤野道和	若山雅敏	中本毅	川谷光紹	和気伸哉	多田羅純一	河野睦夫	後藤竜也	衛藤義弘	河野康臣	井本裕明	辛島光司	今石靖代	新開洋一	林	大隈尚人	高橋宜宏	中村明美	永松 郁	浜永義機	衛 藤 博 幸
議第 43 号	0	0	×	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	0	0	0	0	0	_	0	

原案に賛成: ○ 原案に反対: × 欠席: -

編

集

後

記

《6月定例会の予定》

6/9 (開会日)

提案理由の説明

6/16~19 一般質問

6/22議案質疑

6/23 常任委員会の審査 (総務・文教福祉)

6/24 常任委員会の審査

(産業建設)

6/30 (閉会日)

委員会の審査報告

質疑、討論、採決

り切る事が出来るでしょうか。

り切る事が出来るでしょうか。

を染拡大の影響で、働き方や学び
に子育て世代が持つ将来への不安
は計り知れないだろうと思います。テ
は計り知れないだろうと思います。テ
は計り知る事が出来るでしょうか。 おいて、今回の経験から得た利点にクト(効果)」です。今後の生活にクト(効果)」です。今後の生活にまが必要だと改めて感じました。添い、手を携えて、共に歩んで行く 大する中でのスタートとは 拡大する中でのスタートとは という未知なる感染症が世界 という未知なる感染症が世界 活て着おク 様良目いト 着目し、前向きに捉え、古おいて、今回の経験から得クト(効果)」です。今後この危機の後は「コロナ 例会開催中に県内1例目が発表さ 想しなかっ **応えて、共に歩んで行く** 市民の持つ不安に寄り いて感染症対策事業関限などが決定し、4月 たことでしょう。 のスタートとは、 論を ナウイ 「新しい生巾民にとっ の休校、 土ねま 3月 誰も 乗

※新型コロナウイルス感染症に伴い 入場の制限がある場合があります。